

令和5年度 あげお学びのイノベーション News

上尾市は、文部科学省が示したGIGAスクール構想により、今までの教育実践×最先端のICTで「新たな学び」を創り出す「あげお学びのイノベーション」に取り組んでいます！

スマホ・タブレットやネットを上手に活用できるかな？ ～情報モラル学習サイト～

市内各学校では、「事例で学ぶNetモラル」のアニメーション動画等を活用して、児童生徒の情報モラルを育む授業に取り組んでいます。昨年度も、上尾市では「情報モラル教育の充実」を重点とし、令和4年度「あげお学びのイノベーション」推進プランにおいて、積極的に取り組んできました。令和5年度も、引き続き、児童生徒の情報モラルを育成するとともに、ICTの良き使い手となるよう「デジタル・シティズンシップ教育」も推進していきたいと考えております。

今号では、文部科学省が開設した「情報モラル学習サイト」を紹介します。学校だけでなく、家庭でも取り組める学習サイトです。是非ご活用ください。



「ICTの良き使い手になるために・・・」

文部科学省「情報モラル学習サイト」を活用してみよう！

- 情報モラルとは、情報社会の中で上手に生きていくために必要な考え方や態度のことです。
- サイトでは、写真やイラスト、動画を見ながら約3つの問題に挑戦することで、情報モラルについて学ぶことができます。
- 活用場面ごとに、いろいろな問題に挑戦することができます。それぞれ約5分～10分で学習できます。
- 小学校1年生から高校3年生が対象です。推奨学年にこだわらず、学びたいものを自由に学ぶこともできます。



【学習の流れ】

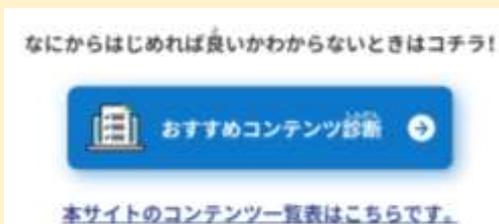
① 8つテーマから、学習したいことを選ぶと・・・



② 問題を選んで挑戦します！



「自分に合った学習内容」を診断することもできます！



「情報モラル学習サイト」(文部科学省)
<https://www.mext.go.jp/moral/#/>
 ★こちらからアクセスできます



【参考】ICT端末のさらなる活用のために

「Chromebook で、教科書等に掲載された二次元コードを読み取る」

★新しい教科書等には、掲載された内容について、さらに分かりやすく解説した動画や資料等を閲覧することができる「二次元コード」が掲載されています。

学習をさらに深めるために、Chromebook を活用して、積極的に二次元コードを読み取りましょう。



◀ 二次元コードを読み取る方法 ▶

◎Chromebook の「カメラ機能」を活用します。

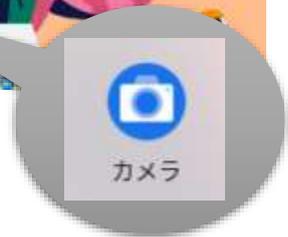
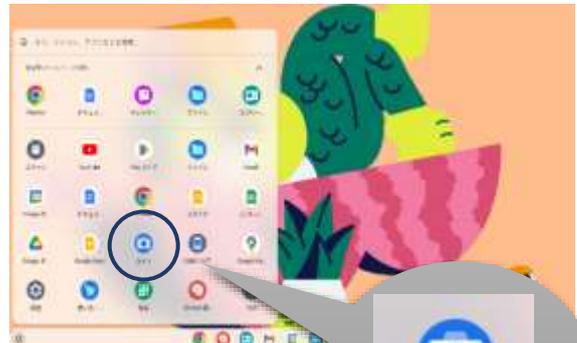
➢ Chromebook のカメラを使用して、写真や動画を撮影したり、写真を編集、印刷したり、ドキュメントや二次元コードをスキャンしたりすることができます。

1 画面の隅のランチャーを選択します。

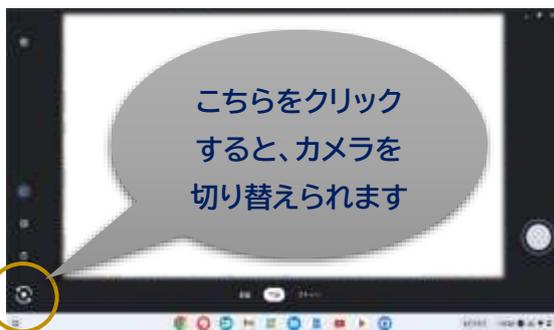


ランチャー
シェルフやアプリ一覧を開きます

2 カメラを選択して起動します。



3 「アウトカメラ」に切り替えます。



★二次元コードをスキャンすると、このようにURLが表示されますので、それをクリックすれば、サイト等にアクセスできます。

4 「QRコード」を選択し、二次元コードにカメラを向け、「スキャン」を選択します。



※詳しくは、下記のURLにアクセスするか、右の二次元コードを読み取ってください。

<https://support.google.com/chromebook/answer/4487486?hl=ja>

